

作業学実習2にて革細工に取り組みました（2026.6）

「人は作業をすることで元気になれる」—日本作業療法士協会—

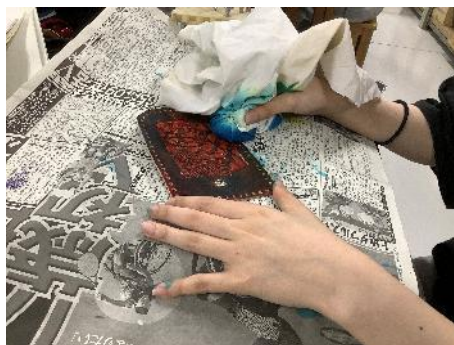
本校では、対象者が元気になることを大切にしながら、作業療法の専門性を深めるために多様な作業活動の実習を行っています。3年生はその一環として、革細工（キーホルダー作り）に取り組みました。革を切る、模様を付ける、染色する動作は、上肢の筋力や巧緻性、力加減の調整、座位保持の向上につながります。また、作業に集中する時間は気分転換やリラックス効果を生み、作品の完成は達成感を高めます。革細工を通して、作業療法士に必要な視点を養います。



革に切り目を入れます



スタンピングという技法で模様を付けます



染色します



さまざまな色の作品ができました